



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月30日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,843	7.9	938	△9.3	991	△5.9	554	11.2
30年3月期第3四半期	16,536	17.0	1,033	△22.2	1,052	△22.8	498	278.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 290百万円 (△70.9%) 30年3月期第3四半期 998百万円 (704.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	167.34	—
30年3月期第3四半期	150.65	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	28,041	12,841	36.4	3,081.16
30年3月期	29,256	12,718	34.5	3,047.46

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 10,212百万円 30年3月期 10,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	—
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,100	5.0	1,650	23.6	1,480	10.7	770	17.1	232.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	3,362,163株	30年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	47,646株	30年3月期	47,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	3,314,670株	30年3月期3Q	3,310,121株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもとで当社グループは、『1. 社会における「信頼」の創造』、『2. 社内における「相互信頼」の醸成と「自立人」の育成』、『3. 新たな領域への挑戦』を柱とする第5次3カ年計画（平成28年～平成30年度）を推進し、国内事業と海外事業の基盤強化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、178億4千3百万円（前年同期比 7.9%増）となりました。損益面では、国内および中国現地の原材料価格高騰によるコストアップと第1四半期において中国国内環境規制による稼働率低下があったため、営業利益 9億3千8百万円（前年同期比 9.3%減）、経常利益 9億9千1百万円（前年同期比 5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 5億5千4百万円（前年同期比 11.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 鋳物関連事業

鋳型は、エネルギー関連の低迷で、鍛鋼、厚板用鋳型の需要が減少しましたが、自動車向け特殊鋼用鋳型が好調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。ロールは、国内電炉メーカー向け需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、主要顧客先の自動車メーカーや金型メーカー向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械、鍛圧機向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、機械鋳物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスパーは、建設機械向け需要が堅調で、売上高は、前年同期を上回りました。中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、第1四半期における現地環境基準強化による稼働率の低下と原材料価格の高騰で、売上高、損益とも前年同期を下回りました。南通虹岡鋳鋼有限公司は、好調に推移し、海外事業トータルでは、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、150億7千4百万円（前年同期比 19.7%増）、セグメント利益 8億7千3百万円（前年同期比 0.8%減）となりました。

## ② 環境関連事業

環境装置事業は、大型案件の売上対象が昨年の3件から本年は2件となり、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、11億2千6百万円（前年同期比 49.7%減）、セグメント利益 7千4百万円（前年同期比 57.5%減）となりました。

## ③ その他の事業

送風機は、売上高は、前年同期を下回りましたが、環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体関連向けの需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。KCメタルファイバーおよびKCカーボンセラミックスは、売上高は、前年同期並みで推移しました。

この結果、当事業の売上高は、16億4千2百万円（前年同期比 3.5%減）、セグメント利益 1億5千5百万円（前年同期比 1.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、159億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千6百万円減少いたしました。これは主として仕掛品が3億2千3百万円、電子記録債権が2億9千5百万円それぞれ増加した一方、環境関連事業大型案件の工事が完了し、回収が進んだことなどにより、受取手形及び売掛金が11億3千9百万円減少したことなどによります。

固定資産は、121億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2千8百万円減少いたしました。これは、主として有形固定資産が2億2千6百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、280億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億1千4百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、104億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億7百万円減少いたしました。これは、主として流動負債のその他に含まれる未払金が8億9百万円、短期借入金が2億7千2百万円減少したことなどによります。

固定負債は、47億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が1億5千8百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、151億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3千8百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、128億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円増加いたしました。これは、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、総資産が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の34.5%から36.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892	1,818
受取手形及び売掛金	9,472	8,332
電子記録債権	1,748	2,044
商品及び製品	1,135	1,159
仕掛品	999	1,323
原材料及び貯蔵品	813	851
その他	560	389
貸倒引当金	△17	△1
流動資産合計	16,604	15,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,035	2,971
機械装置及び運搬具(純額)	4,239	4,234
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,380	1,223
有形固定資産合計	9,876	9,649
無形固定資産		
	256	240
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,024
退職給付に係る資産	222	123
その他	96	85
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,519	2,232
固定資産合計	12,651	12,123
資産合計	29,256	28,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,290	4,236
短期借入金	3,830	3,558
未払法人税等	36	151
賞与引当金	305	139
その他	3,158	2,328
流動負債合計	11,621	10,414
固定負債		
長期借入金	4,593	4,434
繰延税金負債	136	154
未払役員退職慰労金	9	9
退職給付に係る負債	170	176
その他	6	9
固定負債合計	4,916	4,785
負債合計	16,538	15,199
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	6,708	7,097
自己株式	△54	△55
株主資本合計	9,258	9,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	587	430
繰延ヘッジ損益	△7	△5
為替換算調整勘定	349	211
退職給付に係る調整累計額	△86	△71
その他の包括利益累計額合計	842	565
非支配株主持分	2,616	2,629
純資産合計	12,718	12,841
負債純資産合計	29,256	28,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	16,536	17,843
売上原価	13,545	14,832
売上総利益	2,991	3,011
販売費及び一般管理費	1,957	2,073
営業利益	1,033	938
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	49
補助金収入	44	107
その他	39	63
営業外収益合計	113	221
営業外費用		
支払利息	64	118
その他	29	49
営業外費用合計	94	168
経常利益	1,052	991
税金等調整前四半期純利益	1,052	991
法人税、住民税及び事業税	216	259
法人税等調整額	54	31
法人税等合計	270	290
四半期純利益	782	700
非支配株主に帰属する四半期純利益	283	145
親会社株主に帰属する四半期純利益	498	554

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	782	700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	△156
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	60	△270
退職給付に係る調整額	4	14
その他の包括利益合計	215	△410
四半期包括利益	998	290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	277
非支配株主に係る四半期包括利益	313	12



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,592	2,241	14,833	1,702	16,536	—	16,536
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	14	14	△14	—
計	12,592	2,241	14,833	1,717	16,551	△14	16,536
セグメント利益	881	174	1,056	153	1,209	△156	1,052

(注) 1. セグメント利益の調整額△156百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△195百万円、営業外収益が69百万円、営業外費用が△29百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,074	1,126	16,200	1,642	17,843	—	17,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	11	11	△11	—
計	15,074	1,126	16,200	1,653	17,854	△11	17,843
セグメント利益	873	74	948	155	1,103	△112	991

(注) 1. セグメント利益の調整額△112百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△158百万円、営業外収益が96百万円、営業外費用が△49百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。